

保護者会連合会だより

令和3年3月1日発行 No. 2

寒かった冬も少しずつ暖かくなり、春が一步一步近づいていると感じられる時季になりました。さて、今年度保護者会連合会の活動も残りわずかとなりました。例年とは違う状況の中、自分達にできることは何かを考え、模索してきた一年でした。年度末にあたりまして、今年度の活動報告をさせていただきます。



保護者会連合会の活動を振り返って

益田市保育研究会保護者会連合会
会長 田中 一也（雪舟保育所）

昨年の夏、保護者会連合会の新旧引継ぎがあり皆様の前でご挨拶させて頂いた時は、そもそもどのような活動をするのかも分からず、本当に自分が会長で大丈夫なのかという不安な気持ちで一杯でした。しかし、引き受けたからには前向きに自分自身が楽しみながら益田市の保育環境がより充実するように頑張っていこうと思い活動を続けてきました。

活動を続けていく中で、保護者会連合会としての役割は「子どもたちの最善の利益」を目的として、子どもたち・保護者の親睦を図り、益田市の子育て環境の充実を少しでもお手伝いする役割だと認識し、主に2つの活動を実施してきました。

1つ目は子育てに悩む保護者の声を市政に届けるというものです。保護者会連合会では、毎年、全ての保育所及び保育所型認定こども園の保護者を対象にアンケートを実施し、要望書として益田市へ提出するという活動を行っています。寄せられたアンケート結果を見て、どの家庭でも悩みを持ち、子どもたちのことを最優先に考えながら子育てしておられるということを実感いたしました。その中で普段気づけないことや優先して市に取り掛かって欲しいことを、役員・保育研究会の方々と話し合い要望書にまとめ市長へ提出しました。当日は普段入れない市長室での要望書提出となり緊張しましたが、保育研究会の先生方の手助けもあり、保護者としての意見を市長に直接伝えられ、市長からも前向きな回答が得られたので良かったと思っています。しかし、共働き世帯が増加する中、近隣の市と比べても益田市の保育環境が充実しているとは言えない為、今後も継続的に市への要望書提出は行っていくべきだと思っています。

2つ目は研修事業としての親子対象事業です。毎年、子どもたちや保護者の交流の場として様々なイベントを実施してきました。今年度もP S V益田さんにお願ひし、ボールやラダーを使ったトレーニングを考えて頂きましたが、コロナ禍という事もあり実施することが出来ませんでした。しかし、コロナ禍だから出来ないと考えるのではなく、コロナ禍でも子どもたちの為に何だったら出来るのかを考え、皆で意見を出し合った結果、イルミネーションを配り、少しでも益田市を明るく照らしたい、イルミネーションを見て少しでも子どもたちが笑顔になって欲しいという思いを込めて各園に配らせて頂きました。保育園を越えての交流まで至らなかったことが残念ではありますが、今後もイルミネーションをイベント時に使用して頂ければ嬉しく思います。

最後になりますが、保護者の皆様や各保育園の方々におかれましては、アンケートやイルミネーションの飾りつけ等、保護者会連合会の活動に対しご理解とご協力を賜り本当にありがとうございました。今後とも変わらぬご支援、ご協力をお願い致します。

また1年間共に活動して頂いた役員、研究会の皆様、頼りない会長で十分な活動も出来ていなかったと思いますが、支えて下さり本当にありがとうございます。一緒に益田市の保育について考えられた事はとても貴重な経験になりました。これからも人との繋がりを大切に、益田市の保育環境が更に良くなるよう、活動していきたいと思っています。

○要望書提出 令和2年11月18日

今年度も益田市内認可保育所(園)・認定こども園の保護者を対象にアンケート調査を実施し、618件の回答を頂きました。益田市保育研究会及び保護者会連合会ではこのアンケート結果を集計、下記のように生の声をまとめ、益田市へ要望書として提出いたしました。

尚、アンケートの自由記入欄に頂いたご意見は、すべて市へ提出しております。

要望趣旨

本市におかれましては、かねてより保育行政に鋭意努力され、子ども達と私たち保護者に対しまして格別のご配慮を頂き、深く感謝申し上げます。

これまで、私たち益田市保育研究会保護者会連合会では、毎年、全ての保育所及び保育所型認定こども園の利用者を対象にアンケートを実施し、子育て世代の声を市政に届ける活動を続けて参りました。

毎年、このアンケートには、子育てに困難を抱える皆さんの様々な声が寄せられ、まだまだ改善が必要な点があることに気付かされるものとなっています。

共働き家庭が当たり前の時代となり、年間の出生数は増えていないにもかかわらず保育所(園)や認定こども園を利用する家庭の割合はまだまだ増加しています。そして、多くの保護者が先行き不透明な時代への不安を抱えながら子育てをしている中で、更に今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大による影響もあり、その不安は例年以上に大きなものとなっています。

子どもは地域に活力を与える益田市の未来そのものと言える存在です。

子ども達とかかわる中で大人も成長し、子ども達のためにという思いが自分たちの暮らす地域をより良くしたいという思いに繋がっていきます。

全国に誇れる「ひとが育つまち益田」に向け、益田市次世代育成支援計画の基本理念として謳われる「家庭と職場と地域、社会全体で子育ての喜びを分かち合える益田。生まれた喜び、愛される幸せの実感を、次の世代につなげる益田。」の実現に向け、更なるご支援をお願い致します。

要望事項

一 益田市特定教育・保育に係る保育料負担額等の軽減

- ・3歳以上児については無償化となりましたが、副食費については無償化の対象とならない世帯も多くあります。副食費の無償化や負担軽減をお願いします。
- ・0～2歳児の利用者の保育料についても更なる保育料負担軽減をお願いします。

二 安心して産み育てることのできる医療体制の確保

- ・誰もが安心して妊娠・出産・子育てができるよう、小児科医・産婦人科医の人材確保をお願いします。
- ・子育て世代、特に負担の大きい多子世帯への負担軽減として、インフルエンザなどの任意予防接種に対する助成をお願いします。
- ・不妊治療の助成制度について、更なる拡充と制度の周知を図ることをお願いします。

三 安心して仕事と子育てができる社会環境の整備

- ・安心して仕事と子育てが両立できる差別や偏見のない労働環境となるよう、「ますだ子育て応援宣言企業」の登録だけでなく、各事業所への啓発を行い、子育てに理解のある事業所の拡大をお願いします。
- ・子ども達が安心して通学や散歩ができるよう、危険個所の整備など通学路および散歩コースの安全対策の強化をお願いします。

四 公共施設の整備・充実

- ・使われていない公共施設の活用や、公共施設の統廃合における新たな機能として、雨天時・猛暑時でも子ども達が体を動かして遊べる屋内型遊戯施設の整備をお願いします。
- ・市民体育館のキッズルームについて、備品の充実と周知の徹底をお願いします。
- ・野外活動や屋外で遊べる施設の整備・広報の充実をお願いします。

五 放課後児童クラブの整備・充実

- ・放課後児童クラブの質の向上のための支援員の研修の充実や老朽化した施設の計画的な建て替え、及び待機児童の解消のための整備をお願いします。

令和2年11月18日
益田市保育研究会保護者会連合会
会長 田中一也

平素より、本市福祉行政に対して格別なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、子ども・子育てを取り巻く状況は、社会環境の変化等に伴う核家族化や就労形態の多様化などにより、保育・子育てニーズが増大・多様化しています。

昨年10月から「幼児教育・保育の無償化」が開始されたところですが、全国的にも依然として保育施設や放課後児童クラブの待機児童問題、保育士不足等をはじめとした様々な課題が山積している状況です。

本年度においては、平成27年3月に策定した「益田市子ども・子育て支援事業計画」について、第1期計画を引き継ぎ、さらに充実を図るため「第2期益田市子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。この計画に基づき、課題の明確化、市民・事業者・行政における協働の加速化を推進し、より一層の子育て環境の充実を図ることとしております。

貴会より頂きました要望に関しまして、次のとおり回答いたしますので、今後ともご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

令和2年度 益田市保育研究会保護者会連合会要望に対する回答について

一 益田市特定教育・保育に係る保育料負担額等の軽減

- ・3歳以上児については無償化となりましたが、副食費については無償化の対象とならない世帯も多くあります。副食費の無償化や負担軽減をお願いします。

【回答】

幼児教育保育無償化制度については、国において定められたものとなりますが、益田市としても多子世帯への支援の強化や少子化対策として、国の制度において副食費の免除対象とならない第1子・第2子のうち、第2子に係る副食費を全額(4,500円)免除し、保護者負担の軽減を図る取り組みを無償化の実施に併せて令和元年10月1日から実施しているところです。

市としても独自の取り組みを既に実施しておりますことから、副食費の全額免除や新たな負担軽減を実施するのは困難です。

- ・0～2歳児の利用者の保育料についても更なる保育料負担軽減をお願いします。

【回答】

益田市では、平成28年度から多子世帯の第3子以降の3歳未満児(3号認定子ども)の保育料を1/2軽減から無料としております。

この度の保育料無償化の実施にあたり、無償化に係る市の負担、認可外保育施設の利用料、預かり保育事業の利用料、副食費免除者の加算等について、市の新たな負担として増加しておりますことから、0～2歳児の保育料について、新たに単独で負担軽減措置を実施することは困難な状況です。

二 安心して産み育てることのできる医療体制の確保

- ・誰もが安心して妊娠・出産・子育てができるよう、小児科医・産婦人科医の人材確保をお願いします。

【回答】

医療体制の充実及び医療従事者の確保につきましては、市の最重要課題のひとつとして位置付けており、特に産婦人科・小児科の分野につきましては、安心して安全に子どもを産み・育てる生活環境向上のために重要な分野であると強く認識しているところです。

まず、産婦人科については、島根大学医学部産科婦人科から益田赤十字病院へ3名の医師の派遣を受けており、令和元年度益田市の分娩件数は、全体で301件であり、うち62件の里帰り分娩を受け入れることができています。今後もこの体制を維持できるよう努力していきます。

小児科については、島根大学医学部小児科の医師の減少によって、平成28年4月から益田赤十字病院の小児科医は4名体制から3名体制となっています。そのことにより、市民の皆様の大変なご理解とご協力をいただく中で、外来診療の完全予約制や予防接種件数の制限等の状態が現在も続いています。このことについては、島根大学医学部小児科に出向く等により、引き続き市の厳しい現状を伝えていきます。また、開業医の高齢化により小児科診療所も減少してきている中、島根大学医学部及び島根県等と更に連携を深め、医師確保に向けた取組を検討していきます。

小児科医、産婦人科医等が疲弊し、診療体制の崩壊を招くようなことがないように、今後も医師確保に向けた取組をすすめるとともに、市民の皆様と力を合わせて医療従事者も市民も安心で幸せを実感出来るまちづくりを推進していきます。

- ・子育て世代の負担軽減として、インフルエンザなどの任意予防接種に対する助成をお願いします。

【回答】

現在、益田市では、予防接種法に基づく定期の予防接種に対して公費助成を行っております。高齢者の予防接種は一部自己負担を頂いておりますが、乳幼児及び、小・中・高校生を対象とする今年度10月から定期予防接種化されたロタウイルスワクチンも含む12種類の予防接種につきましては、全て無料で接種できるよう予算の確保をしているところです。

ご要望の任意の予防接種につきましては、乳幼児を対象としたものとして、毎年接種の必要があるインフルエンザや、接種料金が高額となるおたふく等があり、接種の際にはかなりの負担となっていることも認識しております。

しかしながら財源の問題もあり、市といたしましては、まずは、定期の予防接種を対象となる方へ確実に実施していくことに力を注ぎたいと考えており、任意の予防接種への助成は、現段階では困難であると判断しております。

また国においては、順次任意接種であった予防接種の定期接種化が検討されており、引き続き、動向を注視してまいりたいと存じます。

- ・不妊治療の助成制度について、更なる拡充と制度の周知を図ることをお願いします。

【回答】

益田市では、「まち・ひと・しごと創生益田市総合戦略」の基本目標の一つに「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」を掲げ、基盤整備の一環として、不妊治療に対する経済的な負担軽減を目的に、平成26年度より「一般不妊治療」への助成を実施しております。

ご要望の拡充につきましては、今年度より制度の拡充を図っており、一般不妊治療への助成費を増額し、新たに不育症（妊娠はするものの、流産、死産等を繰り返す状態）への治療費の助成制度を開始いたしました。また、制度の周知につきましては、医療機関との連携や市広報、ホームページ等での周知を行っているところです。

今後も、治療を必要とする方が事業を活用して経済的な負担が軽減され、安心して治療を受けられるよう、あらゆる機会を通じて制度の説明や相談に応じてまいりたいと存じます。

三 安心して仕事と子育てができる社会環境の整備

- ・安心して仕事と子育てが両立できる差別や偏見のない労働環境となるよう、「ますだ子育て応援宣言企業」の登録だけでなく、各事業所への啓発を行い、子育てに理解のある事業所の拡大をお願いします。

【回答】

今後も引き続き、仕事と生活の調和を推進し、子育てにやさしい職場づくりに積極的に取り組む事業所については「ますだ子育て応援宣言企業」への登録を呼びかけていきます。

現在の登録事業者数は29事業者であり、市で取り組んでおります「益田市U I ターン者サポート企業登録制度」に登録があります事業者を中心に登録をお願いしていきます。

また、ホームページや広報ますだ等においても周知や啓発を行うとともに、商工会議所等の関係機関と連携し企業や事業所と協力しながら、豊かな人生を過ごすためのワークライフバランスを推進し、結婚から子育てまで安心して働ける職場づくりを目指します。

- ・子ども達が安心して通学や散歩ができるよう、危険個所の整備など通学路および散歩コースの安全対策の強化をお願いします。

【回答】

小・中学校については、通学路の安全確保に関する取組方針をまとめた「益田市通学路交通安全プログラム」に沿って通学路の安全対策を実施しています。

毎年、各校で抽出された危険箇所について、道路管理者や警察などの関係者で合同点検を実施して改善・充実を図っています。

保育所等については、令和元年5月、滋賀県において、集団で歩道を通行中の園児らが死傷する痛ましい交通事故が発生しました。未就学児が日常的に集団で移動する経路の緊急安全点検を施設関係者、警察、国土交通省、島根県、市土木課、子ども福祉課で合同点検し、対策を検討しております。

過去の通学路点検により少しずつ改善してきていますが、今後も引き続き、危険度に応じて国・県の道路管理者、警察の交通課（公安委員会）へ要望し改善を図ってまいります。

四 公共施設の整備・充実

- ・使われていない公共施設の活用や、公共施設の統廃合における新たな機能として、雨天時・猛暑時でも子ども達が体を動かして遊べる屋内型遊戯施設の整備をお願いします。
- ・市民体育館のキッズルームについて、備品の充実と周知の徹底をお願いします。

・野外活動や屋外で遊べる施設の整備・広報の充実をお願いします。

【回答】

子どもたちが健やかに遊ぶことのできる全天候型施設について、財政状況を鑑みると常設施設として整備することは困難な状況です。

長期休業期間中を主とした、公共施設の活用については、民間が保有する施設も含め、引き続き研究するとともに、雨天時・猛暑時でも子どもたちが健やかに遊ぶ環境をコーディネートする「遊びのリーダー（仮称）」を養成するなど、多面的な検討を進めていきます。

なお、益田市民体育館キッズルームの備品の充実及び周知の徹底については、要望に沿う方向性で指定管理者と協議を行います。

野外活動や屋外で遊べる施設として、児童遊園地、都市公園を設けています。多くの子どもたちが利用できるよう広報等による周知を行っていきます。

五 放課後児童クラブの整備・充実

・放課後児童クラブの質の向上のための支援員の研修の充実や老朽化した施設の計画的な建て替え、及び待機児童の解消のための整備をお願いします。

【回答】

放課後児童クラブの質の向上のための支援員の研修については、支援員の会へ研修業務を委託しており、年5回程度の研修を実施しています。

老朽化した施設については、実態調査を行ったうえで、修繕や小学校の活用可能教室の利用などを進めている状況です。

令和2年4月からは、吉田小学校敷地内にトマト第1、第2クラブを新たに整備したところです。

なお、待機児童の解消については、児童数の推移、ニーズや実態把握を行い、保護者が安心して子育てと仕事が両立できるよう、学校、地域と連携して子どもたちの健全育成に努めていきます。

市への要望書提出

理事 房崎 淳史（小野保育所）

今年もアンケート調査を元に益田市への要望書を作成し、提出させていただきました。市民体育館のキッズルームの設備や、小児科医不足の問題などを重点的に、益田市在住ではない2人が「外から見た益田」を客観的にお伝えしました。安心して仕事と子育てができる社会環境になる様、今後も現状の把握、活動等を通じ、皆さんの声を届け続けて欲しいと思います。今後も子供達の未来のために何ができるか、益田だからできる事を皆さんと取り組んでいけたらと思います。



連合会の活動について

副会長 小川 宝歎（須子保育園）

今年度は、コロナの中で思うような活動が出来ず、悩み悔しい思いをしました。何か1つでも皆さんの心に残るものを、という思いで、各保育園でのイルミネーションを行いました。お迎えに行くと子ども達が喜んで眺めている姿をたくさん見てとても嬉しく思いました。この大変な状況の中で少しでもホッと出来る空間が出来ていたら嬉しく思います。

連合会の役員として参加させて頂き、要望書提出に向けての話し合いや、事業についての話し合いをして、意見を出し合えたことは大変良い経験をさせて頂きました。

今後も子ども達の為に、又安心して子育ての出来る環境づくりの為にこの活動が継続していくことを願っています。

○イルミネーションを飾ろう！ 令和2年12月～

毎年、親子対象のイベントや研修を開催している保護者会連合会ですが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年のように一つの会場に大勢が集まる行事を開催するのが難しい状況の中、役員会としても慎重に協議を重ねてまいりました。その結果非常に残念ではありますが、今年度は開催しないほうが最良ではないかという判断をさせていただきました。

しかし、こんな状況だからこそ、益田を元気にしたい！そして私たち保護者が子どもたちを愛し大切にしている思いを子どもたちに伝えたい！そんな思いを何とか形にできないだろうかと考えた結果、各保育所(園)・認定こども園にイルミネーションを飾っていただく計画を立てました。その灯で子どもたちの心を温かく照らし、そしてその灯を見るすべての人にポジティブな何かを感じていただけたらと願っています。各園の玄関付近に飾られていますので、お迎えの際には是非ご覧ください。

飾り付けにご協力いただいた皆様ありがとうございました！
各園のイルミネーションを一部ご紹介します。

飾り付け中…

よしよし

!!?

1年を振り返って

副会長 竹江 裕司(めばえ保育園)

保護者会連合会副会長として1年間活動させてもらいました。新型コロナウイルスの影響もあり、様々な活動が中止となるなかで、保護者連合会でもイベントをするのか、しないのか意見がぶつかることもありました。子供たちにできることは今年はないかと諦めていましたが、最後まで案を出してくれた保護者会連合会メンバーのおかげで、イルミネーションを各保育園でデコレーションしてもらいました。保護者の皆様や子供たちに見て楽しんでもらえたと思います。

今年度は、色々な活動が出来ずとても残念でした。来年度は、状況が良くなり子供たちへの楽しい活動が行えることを願っています。私自身は保護者会連合会の役をさせてもらい、この会がどのようなことを考え、活動しているかがわかり貴重な経験をさせてもらいました。仕事終わりの貴重な時間に集まり、この会を運営していただいた保育研究会の先生方、最後まで子供たちのために向かい合った保護者会連合会メンバーの皆様、本当にありがとうございました。